

平成26年度事務事業  
議会評価意見書

小松島市議会

## 議会評価意見書①

事業名	2-3-1 災害対策事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>備蓄等の体制については、住民への防災講習・訓練の中での周知、研修等も含め有意義な活用方法に取り組みなければならない。自助・共助・公助の考え方を市民に理解してもらい、避難所の設置・整備・食糧等の備蓄など、行政がすべきことを早急に行う必要がある。災害対策は終わりのない事業である。</p> <p>今後も、市民の防災意識及び防災知識の向上のため創意工夫をするとともに、発災における体制を常時とっておく必要がある。</p>		

## 議会評価意見書②

事業名	2-3-3 津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業	
議会評価	7	廃止
<p>【評価説明】</p> <p>本事業は、災害発生時における被災者への支援活動を行うための具体的なマニュアルを策定するものであり、そのマニュアルは既に策定されたのであるから、あとは見直し作業のみである。</p> <p>災害時初動マニュアル・避難所運営マニュアル・BCP(業務継続計画)に沿った訓練、研修を市職員に行うべきである。</p>		

### 議会評価意見書③

事業名	2-3-5	津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業（繰越）
議会評価	7	廃止
<p>【評価説明】</p> <p>本事業は、津波避難施設の整備であり、平成26年度において完了したが、津波避難困難地域に居住する市民が、津波発生時に安全かつ迅速に避難できるよう、今後とも避難場所や避難路等の整備を計画的に行っていく必要がある。</p>		

議会評価意見書④

事業名	2-4-2 本庁舎耐震化事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>庁舎 N 棟耐震化工事が完了見込みとなり、耐震診断の結果、耐震化の必要があると診断された S 棟についても、防災拠点施設としての役割を果たせるよう耐震化を進める必要がある。ただし、耐震化工事を行っても、建物自体の耐用年数はあと十数年しかない。今後は建てかえが必要である。よって、建設地と予算について早く市民の意見を聞き、基金を積み立てるべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑤

事業名	4-1-34	商工業振興事業（地域経済振興支援費補助事業・新規雇用創出奨励事業）
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>商工業の活性化は、地域経済や雇用などにも好影響を与える要因となるため、国や県の支援施策も活用し、最大限の取り組みを行うべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑥

事業名	4-2-1 市道整備事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>安全性や利便性の向上を図る上でも非常に重要な事業であり、市民からの要望も多い。今後は、道路パトロールの充実及び改修・修繕工事を計画的に行っていく必要がある。</p>		

議会評価意見書⑦

事業名	4-2-2 市道側溝清掃事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>近年、豪雨による道路冠水、家屋の浸水被害が多発しており、市民の要望も多い。市道側溝維持管理・修繕は、今後も必要性・緊急性が非常に高く、予算拡充を初め、執行体制に関しても強化策を講じなければならない。また、市道側溝だけでなく公共性のある側溝清掃も行うべきである。</p> <p>下水道の未整備地区の多い本市では、地域の排水は水路側溝しかない。事業の目的である道路の冠水や、周辺の浸水被害の解消を図るためには、道路側溝がつながる水路も清掃すべきである。</p>		



議会評価意見書⑧

事業名	4-2-10 社会資本整備総合交付金事業（総合整備計画・防災安全整備計画）（繰越）	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>今後、急速に老朽化していくインフラに対して、市民生活を確保する面からも、整備の判断基準・費用対効果等を考え、国・県の交付金・補助金を活用し拡充する必要がある。</p>		

## 議会評価意見書⑨

事業名	4-3-8 金磯地区避難路整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>金磯地区は、避難所としての適切な場所がなく、甚大な津波被害も予測される。金磯南雨水ポンプ場への避難路として、早急に工事を完成し、供用を開始すべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑩

事業名	4-4-3 老朽危険空き家除却支援事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>本市においては、老朽空き家が急増し、防災上からも解体・撤去等の必要がある。また、市民ニーズも高いので、適用要件を緩和し、広く利用できるようにすべきである。</p> <p>この事業の対象外の老朽危険空き家にも防犯・住環境の改善・良好な景観形成等のため、新たな助成制度をつくるべきである。</p>		

議会評価意見書⑪

事業名	5-2-12 葬斎場建設事業（設計等業務委託）	
議会評価	5	終期設定し終了
<p>【評価説明】</p> <p>設計等業務委託は完了したが、今後、建設・操業・維持管理を行うことになる。</p> <p>現在の施設は老朽化が著しい。平成29年4月供用開始予定であるが、一日も早い完成を目指すべきである。また、周囲の景観と防災を含めた施設でなければならない。</p>		

議会評価意見書⑫

事業名	5-2-15 ごみ袋関係経費	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>ごみ袋は、ごみの減量化・リサイクル意識の向上のため、今後も事業は継続すべきであるが、ごみ袋の販売価格の減額を進めていく必要がある。</p> <p>一方、市民はごみ袋の指定、有料化は決して望んでいない。よって、ごみ袋の自由化等、新しい制度を取り入れるべきであるという意見もある。</p>		

議会評価意見書⑬

事業名	5-3-14 住宅新築資金等貸付事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>未償還者に対して個別に対応していく必要があり、政策法務室と原課による連携で法的措置をとることや、市の債権を一元管理する専門部署を立ち上げ、償還率向上に取り組むとともに、国や県に制度改正を強く求めるべきである。</p>		

議会評価意見書⑭

事業名	5-4-6 ごみ収集・焼却等事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>ごみ収集・焼却等事業は、市民生活において不可欠な事業である。</p> <p>収集作業の民営化、収集日・回数等の改善、粗大ごみの完全無料化等、市民のニーズに合ったごみ収集・焼却等事業にすべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑮

事業名	5-4-8 ごみ焼却施設整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>適正な施設の維持管理に努め、効率的かつ安定的なごみ焼却事業の運営が望まれるため、施設の焼却能力と効率性を踏まえ、適正な運転ができるよう努めるとともに、ランニングコストについては検証すべきである。</p>		



議会評価意見書⑩

事業名	6-1-24 ミリカホール管理運営事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>本市の文化・芸術の中心となる施設であり、今後も振興の拠点として市民のニーズに応えられる運営が必要である。ソフト面・ハード面とも適正な管理が求められるため、順次修繕計画を立て、貸し館業務に支障を来さないよう対策を図るべきである。</p> <p>また、利用料が高いとの声を聞くことから、値下げを検討すべきである。</p>		

議会評価意見書⑰

事業名	6-2-4 生活保護事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>生活困窮者にとっては必要不可欠な事業であり、生活保護関係法令に基づき適正運営に取り組まなければならない。</p> <p>保護受給者の自立を促す制度でもあり、受給者の自立支援に向けた取り組みを積極的に行うべきである。</p>		

## 議会評価意見書⑱

事業名	7-1-1 インターネット環境維持事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>今後ますます変化する情報社会に対応した教育活動を推進するため、各校にタブレット端末を導入すべきである。</p> <p>生徒の学習意欲を高めることを目的に、今後も引き続き効率的に整備していく必要がある。</p>		

## 議会評価意見書⑱

事業名	7-2-6 四国へんろ道世界遺産推進事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>四国八十八箇所霊場は、歴史的・文化的な価値があり、本事業は世界遺産登録に向けた事業である。</p> <p>観光資源として市の活性化にもつながる事業であり、市民に広く啓発活動し、機運を高めるべきである。</p> <p>へんろ道の整備等、対応策を検討していかなければならない。</p>		

## 議会評価意見書⑳

事業名	7-3-8 新中学校建設事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>新中学校建設は教育環境を充実する上で必要性かつ緊急性が高い事業である。</p> <p>安心・安全な施設であるとともに、地域住民の避難場所としても重要である。</p> <p>近隣環境などにも十分配慮した施工を行うべきである。</p>		